

## 1. 施設の名称等

施設名称	長崎県東京産業支援センター
所在地	東京都四谷1丁目10-2

事業所管	産業労働部	新産業創造課
課（室）長名	福重 武弘	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	7	たくましい経済と良質な雇用を創出する
	施策	(2)	地域経済を支える産業の強化
	事業群	(4)	中小企業・小規模事業者の持続的発展

## 2. 施設の概要

設置年月日	平成 13 年 6 月 13 日						
設置法令等	長崎県東京産業支援センター条例（平成17年7月19日）						
設置目的	県内の中小企業者に対して、首都圏における販路開拓や情報収集等の事業活動のための場を提供するとともに、県内の産業に関する情報の発信拠点として設置						
利用対象者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内に主たる事業所を有する中小企業であって、首都圏において当該企業の製品、サービス等の販路開拓、情報収集等を行うもののうち、首都圏に事業所を有しないもの</li> <li>県内で生産された商品等に関する情報の発信を目的とした食堂を運営するもの</li> <li>県内の産業に関する情報の収集、発信等を行う公共的団体</li> </ul>						
施設内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸事務室数 38室</li> <li>4階：貸事務室 12室 3階：貸事務室 13室 2階：貸事務室 13室</li> <li>1階：ロビー、管理人室、共用会議室、食堂、テストキッチン付き商談ルーム ほか</li> </ul>						
施設の利用料金体系	<ul style="list-style-type: none"> <li>1㎡につき2,090円/月の使用料（R1.10改定）</li> <li>上記使用料の他に利用者負担として「貸事務室の占有部分に係る使用電気料」及び「共用部分に係る共益費」がある。</li> </ul>						
類似施設の設置状況	なし						
県 予 算	区 分 (単位：千円)		平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)
	財源	国庫					
		その他（ 使用料等 一般財源）	15,714	15,303	18,384	21,169	16,701
	内 訳	事業費<A>	15,714	15,303	18,384	21,169	16,701
		管理運営負担金	12,970	12,736	14,567	12,856	14,085
		その他（ 施設改修等）	2,744	2,567	3,817	8,313	2,616
		人件費<B>	1,608	1,609	1,594	1,591	1,595
	合計<C=A+B>		17,322	16,912	19,978	22,760	18,296
単位あたりコスト		1,444	1,301	909	1,626		
(説明) 「売上が増加した入居企業1社に要した費用」=C÷(入居時と比較して直近の首都圏での売上が増加した企業数=平成28年度は12社、平成29年度は13社、平成30年度は22社、令和元年度は14社)							

## 3. 指定管理者の概要

指定管理者の名称等	<<所在地>> 東京都千代田区三番町2 <<名称>> 株式会社コンベンションリンケージ <<代表者氏名>> 表取締役 平位 博昭		
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日		
業務	①支援センターの使用許可に関する事 ②使用料金等に関する事 ③支援センターの保守・管理に関する事 ④支援センター及び付属設備の維持・修繕に関する事 ⑤貸事務室及び食堂の利用者からの相談に関する事 ⑥利用者の義務違反に対する処理に関する事		
利用料金制	導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 未導入	選定方法 <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

#### 4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	① 事務室の入居率		(目標値の根拠) ① 2～4階の入居率		＜令和2年度実施における変更点＞			
	② 退去後も首都圏で継続して事業活動を行う企業の割合		② 退去後、首都圏へ新たな拠点を置くか、拠点は置かないが営業活動は続ける企業の割合					
	③ 中小企業診断士による相談が有効であったと答えた企業の割合		③ 相談を受けたほぼすべての企業が、何らかの役に立ったと評価					
	実績		平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)	
		単位						
①	a	目標値	%	-	90	90	90	
	b	実績値	%	-	76	100	97	
	c	達成率(b/a)	%	-	84	111	107	
②	a	目標値	%	75	100	100	100	
	b	実績値	%	100	100	100	83	
	c	達成率(b/a)	%	133	100	100	83	
③	a	目標値	%	100	100	100	100	
	b	実績値	%	100	100	100	100	
	c	達成率(b/a)	%	100	100	100	100	
指定管理者の収支状況		事業計画 (R1) (千円) 実績-計画		平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (計画)
	利用料金		0					
	県負担金	14,426	▲ 1,570	12,970	12,736	14,567	12,856	14,085
	その他		0					
	収入計(a)	14,426	▲ 1,570	12,970	12,736	14,567	12,856	14,085
	支出(b)	14,426	▲ 1,570	12,970	12,736	14,567	12,856	14,085
	うち人件費	4,352	41	4,286	4,284	4,281	4,393	4,578
	収支(a-b)	0	0	0	0	0	0	0
配置職員数 (人)	常勤	2	0	2	2	2	2	2
	非常勤							

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したものとしては、「2. 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

#### 5. 令和元年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画	実 績
	<p>＜指定管理者実施分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①入居審査会の開催</li> <li>②使用許可、使用料徴収</li> <li>③施設の維持管理及び修繕</li> <li>④施設ホームページの作成・管理</li> </ul> <p>＜県実施分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①東京産業支援センターの管理運営に関する助言・指導</li> </ul>	<p>＜指定管理者実施分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①入居審査会を1回開催</li> <li>②使用料の徴収について適正に業務を実施</li> <li>③定期的に点検を行い、適宜必要な修理を実施</li> <li>④東京産業支援センターのホームページを開設しており、更新も随時、実施</li> </ul> <p>＜県実施分＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①必要に応じ、助言・指導を実施</li> </ul>
	検 証	
	<p>○令和元年度入居審査会の状況 断続的に入居率が100%だったため、1回のみ募集。入居審査会を経て1社の入居を決定。</p> <p>開催日 承認/申請 第1回 R2.2.14 1社/1社</p> <p>○令和元年度に退去した企業6社のうち、5社は首都圏での営業を継続しており、当施設活用の成果が出ている。</p> <p>○入居企業への支援として、以下のような取組を積極的に実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士による相談会を実施（月1回程度実施）</li> <li>・入居企業同士の情報交換を図るための交流会を開催</li> <li>・入居企業の販路拡大のため、業務上関連の可能性のある企業に入居企業を紹介（随時）</li> <li>・常に入居企業の状況を把握し、専門家を紹介するなど必要に応じたフォローを実施（随時）</li> </ul>	

収支計画・実績			
＜指定管理者実施分＞			(単位：千円)
主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等
収入(a)	14,426	12,856	
うち県負担金	14,426	12,856	管理運営費減に伴う負担金の減
支出(b)	14,426	12,856	
うち人件費	4,352	4,393	
うち事業費	9,273	7,751	光熱水費・修繕費の減
うち事務費	801	712	
収支(a-b)	0	0	
<b>収支の状況</b> ＜県実施分＞ 県の負担金以外の支出の内訳は以下のとおり 旅費 270千円			
<b>検 証</b>			
○指定管理者が適切な施設の管理運営に努めた結果、当初予定していた県負担金の削減が実現した。 (計画 14,426千円 → 実績額 12,856千円)			
<b>指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価</b>			<b>A</b>
○入居企業に対する中小企業診断士による相談日を設定し、販路開拓や経営に関する各種相談に対応している。 ○入居企業に対するアンケート調査対象先26社のうち、入居時と比較して首都圏での売上が増加した企業は14社(53.8%)、首都圏の拠点として有効であると回答した企業は26社(100%)であり、一定の成果を上げている。 ○退去後も首都圏で継続して事業活動を行う企業の割合については、対象企業6社のうち、5社が「営業を継続」、今後も活動意向を持っている。			

## 6. 令和2年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容
施設内で感染症を発生・蔓延させないため、外部からの入館者数の制限や、マスク着用・消毒液の配置等の「新しい生活様式」に即した施設運営を徹底する。

## 7. 令和2年度事業の評価 ※評価区分(a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない)

指定管理者の行う管理運営等に関する評価	視点	評価	判定理由
	・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。 ・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。 ・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。 ・施設・設備の維持管理は適切に行われているか。 ・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。 ・経費節減に向けた取り組みが行われているか。 (その他の観点)	a	高い入居率を維持しており、適切に運営していると判断される。 入居募集に当たっては、新聞・インターネット等を利用して募集を行っている。入居審査についても外部委員による審査会を開催し、入居を決定している。 入居企業からの苦情等もなく、良好な関係が構築されている。 施設の管理は協定書に従って適切に行われている。 利用料金制度を導入していない。 経費削減に努めた結果、計画より減額となっている。

		視点	評価	理由
施設の在り方についての評価	必要性	・県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。	■ a. 薄れていない	首都圏における営業拠点施設として、入居企業からの評価は高く、その必要性は高い。
			b. 一部薄れている	
			c. 薄れている	
	・事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適應しているか。	■ a. 適應している	売上の拡大には、市場規模が大きい首都圏での営業活動が重要であり、そのためには現地に営業拠点が必要である。	
		b. 一部適應していない		
		c. 適應していない		
	・市町または民間に移管・移譲することが適當（可能）ではないか。	■ a. 適當（可能）でない	中小企業にとって、県の施設に入居することによって、信用力の向上が期待でき、県で設置することが適當である。	
		b. 一部適當（可能）でない		
		c. 適當（可能）である		
	効率性	・県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。	■ a. 得られている	県が積算した管理運営費よりも少ない経費で適切な管理運営業務が行われている。
			b. 一部得られている	
			c. 得られていない	
・指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。	■ a. 代えられない	施設の維持管理や入居者への対応等の業務上、常駐職員が必要であることから、指定管理者制度が有効に機能している。		
	b. 一部代えられない			
	c. 代えられる			
有効性	・指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。	■ a. なっている	施設の維持・管理が適切に行われ、入居企業からの苦情などもなく、良好な関係が築かれており、有効に機能している。	
		b. 一部なっていない		
		c. なっていない		
・事業効果をさらに上げる余地はないか。	■ a. 余地はない	県内企業の首都圏進出の拠点施設としての効果は十分に果たしている。		
	b. 一部余地がある			
	c. 余地がある			
		(その他の観点)		

### 8. 令和3年度事業の実施に向けた方向性

区分	■ 現状維持	改善	移管	廃止
首都圏における営業活動の拠点として入居企業の業績向上に資するよう指定管理者と協議しながら、引き続き適切かつ効率的な維持・管理に努める。				
(上段に加え、成果指標達成状況が「未達成」であるのに現状維持の場合はその理由を以下に記載)				
首都圏における経済活動が停滞する中で、退去後に首都圏での事業活動を行わない企業が増加する懸念が強まっており、入居企業の状況に応じた適切な対応に努めていく。				